

指 導 計 画

令和 6 年度

西区保育・子育て支援センター

1 ちあふる・にしの状況

(1) 地域の状況

- ・地下鉄沿線に位置し、利便性のよいことから大型マンションが建ち並び、道外からの転入者や、共働き家庭などが多い。比較的若い家族世帯と昔からこの地に住む高齢者世帯とが共存している。
- ・養育環境としては、親の子育てへの意識の高さや生活にゆとりが感じられるとともに、祖父母が育児に協力的な家庭が多く、比較的安定した環境で子どもを育てている様子がうかがえる。

(2) 子どもの状況

- ・保育士等や友達に親しみをもって接しようとする子が多い。
- ・様々な食育の取組を行ってきたことで、食への関心が高まり、意欲的に食べる子どもが多い。
- ・自分の思いを発言する力はあるが、相手の話を聞くという点で課題がみられる子どももいる。
- ・配慮が必要な子どもが増えている。保護者、各関係機関との連携を深めながら、子どもの育ちを支えている。

(3) 保護者の状況

- ・第2子、第3子を出産する家庭が多い。
- ・保育士等との会話を楽しみにしていて、我が子の様子について詳しい話を聞きたいという保護者が年々増えていると感じられる。
- ・園の保育内容に理解が深く、協力的である。
- ・子育てに熱心だが、育児、子どもへの関わり方に悩む保護者が多く見られ、個人懇談の希望が増えている。また、個別に配慮が必要な保護者も増えている。
- ・保育への関心が高く、園での子どもの姿を見たいという要望が多い。
- ・保護者同士の関係については、情報交換を望んでいて、迎え時などに交流している姿が見られる。

2 ちあふる・にしの子ども像、保育目標

○ よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ子ども

規則正しい生活リズムの確立と、健康的な生活の基盤をつくり、子どもの生きる力の基礎を培う。

○ 自分を大切にし、思いやりのある子ども

自分を見守り受け止めてくれる人々への安心感や信頼感を土台に、自己肯定感を育み、人と関わる力を養う。

○ 地域の人などに親しみをもち、ふれあいの中で豊かな心を育む子ども

ボランティアなど身近な人に対する親しみや感謝の気持ちを育み、人間関係の基礎をつくる。

3 障がい児保育について

- ・包括的に他の子どもとの生活を通してともに育ち合うことができるように、一人一人の子どもの心身の発育、発達状況を把握して、個別支援計画を作成し、個々に応じた関わりと集団の一員としての関わりを大切にして保育を行う。
- ・家庭と連携し、相互理解を図りながら適切に対応する。
- ・関係機関と連携し、必要に応じて助言を得られるようにする。
- ・医療的ケア児モデル事業では、専門職や医療機関と連携をとりながら保育を行い、日常的なケアを必要とする子とその保護者が、安心して園生活を送れるよう適切な支援を行う。

4 長時間にわたる保育について

- ・長時間にわたって園で過ごす子どもについては、一日の生活の流れを見通し、発達過程や心身の状態を把握して対応する。
- ・家庭と連携して、子どもの一日の全体像についての理解を共有し、職員の引継ぎの際には正確な情報の伝達を心がけ、安心して充実した毎日を過ごせるようにする。

5 健康及び安全管理について

(1) 健康増進、安全管理

- ・一人一人の子どもの健康の保持及び増進並びに安全の確保とともに、全体の健康及び安全の確保に努めていく。また、子どもが自らの体や健康に関心をもち、心身の機能を高めていくことを目的とし、年間保健計画に基づいて指導計画の中に位置づけ、医療職、嘱託医と連携し、日々の保育を行っていくようにする。
- ・虐待の予防、早期発見等に努め、子どもの心身の状態や家庭での生活、養育の状態などを把握する。また、必要に応じて関係機関との連携を図っていく。
- ・感染症の発生の予防的機能を果たすため、感染症の発生状況を知らせるとともに注意喚起を行っていく。
- ・「けんこうだより」は年間4回を基本とするが、必要に応じて発行し、保護者との連携や啓発に活用する。
- ・アレルギー児の誤飲、誤食を防ぐため、アレルギー対応会議の実施や食事提供の際のチェック体制の徹底と情報共有を行っていく。
- ・感染症対策として、園舎及び遊具などの消毒を実施するとともに、登園前の検温及び登園後の手洗いなど保護者の協力を得ながら、子どもの健康を守っていく。

(2) 食育

- ・子どもが自らの感覚や、体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりや調理室の仕事について知る機会をもつ。食育年間計画に基づいて指導計画の中に位置づけ、食育に関わる取組を積極的に行っていく。
- ・保護者及び利用者の相談や必要に応じて個人面談を行うなどして、食育の推進を図っていく。

6 保護者に対する支援について

- ・保育所の特性を生かした支援、子どもの成長の喜びの共有、保護者の養育力の向上に結びつく支援、地域の資源の活用など、保護者に対する支援及び地域における子育て支援を適切に行っていく。

7 小学校との連携について

- ・園での子どもの育ちを、それ以降の学びへとつなげていくことが重要であるため、子どもが小学校生活に対して期待感をもてるよう、各小学校との連携を図っていく。
- ・近隣の二十四軒小学校とは、年長児のクラス懇談会に講師として参加してもらう、年長児の小学校見学など、連携を図っている。
- ・幼保小連携推進協議会への参加や札幌市保育所児童保育要録の提出（送付）など、各関係機関と連携を図りながら子どもの育ちを支え、就学以降の生活や学びにつなげていく。

8 地域との連携について

- ・感染症に配慮しながら、センター行事等を利用者（園児、子育てサロン親子、地域の方など）の交流の場と位置付け、地域関係者やボランティアの協力を得ながら実施する。
- ・地域の関係団体や関係機関を中心に、子どもを取り巻く地域の方と互いを尊重しながら、子どもの育ちと子育てを支えていけるよう連携を図る。

9 評価・改善について

- ・保育の根幹となる全体的な計画を全職員で共通認識し、発達過程に基づいた具体的な指導計画を作成し、発達の連続性を踏まえた保育の内容を展開している。保育の内容を通して職員一人一人の自己評価と、組織としての自己評価を行い、課題、改善点をまとめた上で保護者、利用者に公表し、更なる保育の質の向上に努めていく。

10 研修について

- ・自己評価を基に、体系的、計画的に効果のある職員研修を行っていく。
- ・園内研修、園外研修の重要性を一人一人の職員が十分認識するとともに、意欲をもって参加し、保育力及び組織の機能を高めていくことにつなげていく。保育実践の理念と方法の統合を図り、多様な状況に対応できる保育所を目指していくための研さんを積んでいく。

11 保育の形態及びクラス編成について

- ・年齢保育を主体とし、一人一人の発達過程や心身の状態に応じた適切な援助及び環境構成を行う。乳幼児期に共通する発達・発育の過程を基盤にしながらも、子ども自身の力を十分に認め、一人一人を援助し、柔軟に保育が展開されるよう発達や生活の連続性に配慮する。
- ・3歳以上児については、年齢の違う集団の中で友達との関わりを通じて、思いやりや憧れの気持ちを持ち、互いに育ち合うことをねらいとした異年齢保育も行う。

乳児クラス

- りす組（0歳児）
- うさぎ組（1歳児）

異年齢クラス

- ばななグループ（3・4・5歳児）
- ぶどうグループ（3・4・5歳児）
- めろんグループ（3・4・5歳児）

年齢クラス

- もも組・あか組（2歳児）
- きいろ組（3歳児）
- あお組（4歳児）
- みどり組（5歳児）

目 次

1	ちあふる・にしの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 地域の状況	
	(2) 子どもの状況	
	(3) 保護者の状況	
2	ちあふる・にしの子ども像、保育目標・・・・・・・・・・	1
3	障がい児保育について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4	長時間にわたる保育について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5	健康及び安全管理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(1) 健康増進、安全	
	(2) 食育	
6	保護者に対する支援について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
7	小学校との連携について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
8	地域との連携について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
9	評価・改善について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
10	研修について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
11	保育の形態及びクラス編成について・・・・・・・・・・	4

別添

指導計画（保育係）

0歳児 指導計画

2か月～5か月めやす / 1期（4・5月）

2か月～5か月めやす / 1期（4・5月）			
年間目標		・安心できる保育士等や快適な環境のもとで機嫌よく過ごす。	
子どもの姿		・生理的欲求を泣いたり声を出したりして知らせる。 ・新しい環境に不安を感じて泣く姿がある。 ・気になる玩具などがあると目で追ったり、手を伸ばしたりしようとする。 ・うつ伏せにすると両腕で体を支える。 ・あやすと笑い返したり、声を出したりする。	
ねらい		・授乳、睡眠、排泄などの欲求が満たされ、機嫌よく過ごす。 ・特定の保育士等との信頼関係を築いていく。 ・いろいろな動きを通して運動機能の発達を促す。 ・聞く、見る、触れるなどの感覚の働きを豊かにする。	行事 避難訓練 園医健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定） ・乳児期に係る3つの視点 ・身近な人と気持ちが通じ合う ・健康やかに伸び伸びと育つ	・清潔で安全な環境の中で、生理的欲求が満たされ、快適に過ごせるようにする。 ・保育士等の丁寧な関わりや欲求への受容によって安心して機嫌よく過ごせるようにする。 ・安心してミルクを飲むことに慣れる。 ・こまめにおむつを替えてもらい、清潔になることの心地よさを感じる。 ・安心して入眠したり、目覚めたりする。 ・手足を動かしたり、首の向きを変えたりしようとする。 ・保育士等の声掛けやスキンシップを喜ぶ。 ・戸外やポーチに出て、外気に触れる。 ・玩具を握ったり、なめたりして遊ぶ。	・一人一人の生理的欲求を受け止め、丁寧に応えることで安心して過ごせるようにする。 ・特定の保育士等が一人一人とゆったりと関わり、欲求を受け止め、情緒の安定を図る。 ・授乳は一人一人のリズムに合わせ、優しく声をかけながら落ち着いた環境の中で行う。 ・おむつ交換はゆったりとした気持ちで接し、言葉をかけたり、手足を優しく動かしたりして心地よさを感じられるようにする。 ・睡眠中の環境に配慮し、仰向けに寝かせ、呼吸、顔色、嘔吐の有無など細かく状況を把握し、乳幼児突然死症候群を予防する。 ・マットを敷くなど安全な遊びの環境を設定する。 ・目と目を合わせて丁寧に言葉をかけながら、喃語に応え、保育士等との関わりを心地よいと感じられるようにする。 ・外気浴を行う場合は、健康状態や天候、気温、湿度などに留意する。 ・子どもの発達や興味、関心に合ったおもちゃを用意する。	
健康及び安全 に関わる配慮事項	・朝の視診を丁寧に行う。連絡帳は必ず目を通し、職員間で情報を共有する。 ・睡眠中は子どもから目を離さず、呼吸、顔色など細かく観察し、睡眠時観察用紙に記入する。（5分ごと） ・毎日、遊具の点検（清潔、誤飲しない大きさ）や整理を行い、口に入ったものは消毒し清潔に保つ。		
地域や関係機関との 連携	・散歩などを通して地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合う機会をもつ。		
家庭との連携	・一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら保護者との信頼関係を築く。 ・連絡帳を通して生活のリズム、家での様子などを把握する。 ・4か月健診の結果を把握する。		
遊び	見る遊び（吊り遊具、起き上がりこぼし）、握る遊び（オーボール、ガラガラ）、口で確かめる遊び（歯固め）、触れ合い遊び（ふくすけさん、一本橋）		

0歳児 指導計画

6か月、7か月めやす / 2期（6・7・8・9月）			
年間目標	・安心できる保育士等や快適な環境のもとで機嫌よく過ごす。		
子どもの姿	・離乳食が始まる。 ・授乳、食事、睡眠のリズムが少しずつでき始める。 ・寝返りやずりばいなどの体の動きがみられる。 ・身近な人の顔が分かり、あやしてもらおうと喜ぶ。		
ねらい	・落ち着いた環境で安心して過ごす。 ・手足や体を十分に動かして遊ぶ。 ・いろいろな味に慣れ、食事を喜ぶ。 ・身の回りのものに触れ、周囲のものに対する興味や関心をもつ。	行事	避難訓練 園医健診 七夕 保育参観 歯科健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定） ・乳児期に係る3つの視点 ・身近な人と関わり感性が育つ	・清潔で安全な環境の中で、快適に過ごせるようにする。 ・保育士等の丁寧な関わりの中で安心して過ごせるようにする。 ・安心してミルクを飲んだり、離乳食を食べたりする。 ・こまめにおむつを取り替えてもらい、きれいになる心地よさを感じる。 ・睡眠のリズムに応じて、安心して眠る。 ・寝返りやははいはいでの移動や探索活動を楽しむ。 ・保育士等とのやり取りを喜び、笑顔や喃語で応えようとする。 ・戸外やポーチなどで外気浴をする。 ・おもちゃを握ったり振ったり、口に入れたりして遊ぶ。	・室内の清潔に配慮したり、気温に応じて室温、湿度や衣服などの調整をしたりして、快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の欲求を受け止め、優しい言葉かけやスキンシップを大切にしながら関わる。 ・優しく声をかけながら丁寧に関わり安心して授乳や食事ができるようにする。 ・おむつ交換はゆったりとした気持ちで接し、言葉をかけたり、手足を優しく動かしたりして心地よさを感じられるようにする。 ・静かな環境の中で、ゆったりと関わり入眠を促す。 ・十分に動けるスペースを作り、安全に体を動かせるような環境を整える。 ・目と目を合わせて丁寧に言葉をかけながら喃語に応え、保育士等との関わりを心地よいと感じられるようにする。 ・外気浴を行う場合は、健康状態や天候、気温、湿度などに留意する。 ・子どもの発達段階や興味、関心に合わせた玩具を用意する。	
健康及び安全に関わる 配慮事項	・その日の体調や食欲の有無を確認し、水分補給や休息を十分に行う。		
地域や関係機関との 連携	・散歩などを通して地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合う機会をもつ。 ・必要に応じて、区保健センターと連絡を取り合う。 ・子育てサロンの親子と交流する機会をもつ。		
家庭との 連携	・一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら保護者との信頼関係を築く。 ・連絡帳を通して生活のリズム、家での様子などを把握する。 ・離乳食の内容や進行状況について分かりやすく伝える。		
遊び	運動遊び（マット山、体操、トンネル）、見る遊び（しゃぼん玉、絵本）、感触遊び（氷、寒天）、触れ合い遊び（おすわりやっせ、ぞうきん）		

0歳児 指導計画

8か月、9か月めやす / 3期(10・11・12月)

8か月、9か月めやす / 3期(10・11・12月)			
年間目標	・安心できる保育士等や快適な環境のもとで機嫌よく過ごす。		
子どもの姿	・はいはいで移動する。 ・食べることに興味をもつようになる。 ・身近な大人に自ら近付き、関わりを求める。 ・後追いや人見知りが始まり、見慣れない大人を見ると泣く。		
ねらい	・落ち着いた環境で安心して過ごす。 ・いろいろな味や形態に慣れ、食事を喜ぶ。 ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・身近な人への気持ちを表現する。	行事	避難訓練 園医健診 クリスマス会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 (生命の保持・情緒の安定)	・清潔で安全な環境の中で、快適に過ごせるようにする。 ・保育士等との関わりの中で安心して機嫌よく過ごせるようにする。 ・様々な食品に慣れ、ゆっくりと咀嚼しながら楽しく食べる。 ・こまめにおむつを取り替えてもらい、きれいになる心地よさを感じる。 ・睡眠リズムに応じて安心して眠る。 ・喃語を発し、応答してもらうことを喜ぶ。 ・戸外遊びを通して身近な自然にれる。 ・探索したり体を動かしたりして遊ぶ。 ・つまむ、叩く、引っ張るなど指先や手を使って遊ぶ。	・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して生理的欲求を満たせるようにする。 ・落ち着いた雰囲気の中、一人一人の欲求を受け止め、優しい言葉かけやスキンシップを大切にして関わる。 ・楽しい雰囲気の中で声をかけ、手づかみ食べや咀嚼を促す。 ・おむつ交換はゆったりとした気持ちで接しながら言葉をかけ、心地よさを感じられるようにする。 ・十分に眠ることができるよう、静かな環境をつくる。必要に応じて朝夕の仮眠をとる。 ・子どもに優しく語りかけ、丁寧な言葉かけをすることで発語に応える。 ・戸外遊びは健康状態や天候、気温、湿度などに留意して行う。 ・自然物に触れる場合は誤飲や怪我に十分注意する。 ・子どもの発達や興味に合った遊具を用意し、広くて安全な場所を確保して探索活動を促す。 ・安全に配慮し、必ず保育士等がそばについて安心して遊ぶことができるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・子どもの興味や探索行動を十分に楽しめるよう安全な環境を整え、保育士等がそばで見守り安心して遊ぶことができるようにする。		
地域や関係機関との連携	・散歩などを通して地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合いの機会をもつ。 ・子育てサロンの親子と交流する機会をもつ。		
家庭との連携	・一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら保護者との信頼関係を築く。 ・連絡帳を通して生活のリズム、家での様子などを把握する。 ・離乳食は一人一人の状況に合わせ進めていく。また、離乳食の形態が変更になる場合は面談を行う。		
遊び	見る遊び(ペープサート)、運動遊び(戸板登り、フラフープくぐり)、指先を使う遊び(スイッチボックス)、触れ合い遊び(どてかぼちゃ)		

0歳児 指導計画

10 か月～12 か月めやす / 4期（1・2・3月）

10 か月～12 か月めやす / 4 期（1・2・3 月）			
年間目標	・安心できる保育士等や快適な環境のもとで機嫌よく過ごす。		
子どもの姿	・食べることを喜び、自分から手づかみなどで食べようとする。 ・つかまり立ちや伝い歩きなどの探索行動が盛んになる。 ・指差したり、意味のある言葉を発したりする。		
ねらい	・落ち着いた環境で安心して過ごす。 ・いろいろな味や形態に慣れ、手づかみや食具を使って自分で食べようとする。 ・好きな遊びを十分に楽しむ。 ・指差しをしたり、言葉を発したりすることを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 節分 ひなまつり お祝いパーティー クラス移行 保育参観（発表会）
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定）	・清潔で安全な環境の中で、快適に過ごせるようにする。 ・保育士等との関わりの中で安心して機嫌よく過ごせるようにする。 ・様々な味の食品を自分で食べようとする意欲をもち、コップやスプーンなどの食具に慣れる。 ・こまめにおむつを取り替えてもらい、きれいになる心地よさを感じる。 ・睡眠リズムに応じて、一定の時間まとめて眠る。 ・体を動かすことを楽しむ。 ・保育士等の簡単な言葉を理解し言葉で応えたり身振りで伝えようとしたりする。 ・興味のある玩具や絵本を見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。	・清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して生理的欲求を満たせるようにする。 ・落ち着いた雰囲気の中、一人一人の欲求を受け止め、優しい言葉かけやスキンシップを大切にしておく。 ・手づかみができるように形態に配慮し、自分で食べようとする気持ちが育つよう関わる。また、スプーンやカップの使い方を知らせる。 ・おむつ交換はゆったりとした気持ちで接しながら言葉をかけ、心地よさを感じられるようにする。 ・十分に眠ることができるように、静かな環境をつくる。 ・一人一人の動きを把握し、保育士等がそばにつき十分に体を動かして遊べる環境を用意する。 ・気持ちやしぐさを受け止め、場面に合った言葉に代えながら発語しようとする意欲を育てていく。 ・落ち着いた雰囲気の中で見たり遊んだりすることができるように子どもの興味や発達に合った絵本や玩具を用意する。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・子どもの興味や探索行動を十分に満足できるよう見守りながらも、危険なことについては繰り返し伝える。		
地域や関係機関との連携	・ボランティアの方や小規模保育事業所の園児、子育てサロンの親子と触れ合う機会をもつ。		
家庭との連携	・一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら保護者との信頼関係を築く。 ・体調の変化に十分注意することや、適切な対応の仕方を知らせる。 ・10 か月健診の結果を把握する。 ・連絡帳を通して生活のリズム、家での様子などを把握する。		
遊び	運動遊び（引き車、おいかけっこ、ボールプール）、指先を使う遊び（クレヨン画、シール貼り、ぽっとな落とし）、感触遊び（小麦粉粘土）、触れ合い遊び（おふねをこいで）、手遊び（とんとんとんとんひげじいさん）、ままごと		

1 歳児 指導計画

		1期（4・5月）	
年間目標		・安心できる保育士等のもとで、友達と遊ぶことを喜ぶ。 ・身の回りのことに興味をもち、自分でしてみようとする。	
子どもの姿		・はいはいや伝い歩き、一人歩きで自由に探索する。 ・環境が変わり、不安を感じたり体調を崩したりする子もいるが、慣れるにしたがって好きな玩具で遊ぶようになる。	
ねらい		・新しい環境に慣れ安心して過ごす。 ・楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする。 ・保育士等と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・外気浴や散歩を通して春の自然に親しむ。	行事 避難訓練 園医健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定） 教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・一人一人の健康状態を把握し、快適に過ごせるようにする。	・家庭と連携をとり、子どもの健康状態を把握し、健康に過ごせるようにする。	
	・気持ちや欲求を十分に満たし、保育士等と触れ合いながら過ごすことで信頼関係を築けるようにする。	・一人一人の発達段階や個性を把握し、ゆったりとした雰囲気の中で、気持ちを受け止めて関わる。	
	・安心できる保育士等と一緒に楽しく食事をする。	・楽しい雰囲気の中で食事ができるようにするとともに、一人一人の食事の量やペース、咀嚼の仕方を把握し、必要な援助を行う。	
	・はいはいや伝い歩き、一人歩きで探索活動を楽しむ。	・個々の動きを十分に把握した上で安全な環境を整え危険のないように見守り、探索活動を促す。	
	・保育士等や友達のそばで好きな遊びを楽しむ。	・子どもの興味や発達に合った玩具や環境を整え、保育士等と一緒に遊びながら楽しさを伝えていく。	
	・自然に触れながら散歩や戸外遊びを楽しむ。	・周囲の草花や虫などに目を向け、自然を感じるができるよう声かけをする。	
	・簡単な身振りや言葉で気持ちを伝えようとする。	・一人一人の伝えたい気持ちを丁寧に受け止め、代弁する。	
	・保育士等と一緒に絵本を見たり、手遊びやわらべうた遊びをしたりする。	・子どもの興味や関心に合った絵本を選び、繰り返し楽しめるようにする。 ・手遊びやわらべうた遊びを通して歌に親しみ、保育士等の真似をして遊ぶことを楽しめるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項		・朝の視診を丁寧に行之、一人一人の健康状態を把握する。 ・園内外の環境、遊具について、遊びに入る前に安全点検する。 ・戸外に出る際は安全及び紫外線予防のため、帽子をかぶせる。 ・散歩車に乗せるときは危険のないよう職員間で連携して乗せる。	
地域や関係機関との連携		・散歩などを通して地域の人と挨拶や言葉を交わす。	
家庭との連携		・体調や情緒面、一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら、保護者との信頼関係を築く。 ・連絡帳を通して、生活のリズム、家での様子などを把握する。保育のねらいや活動内容を伝えるとともに具体的に安心できる記述をする。 ・かばん、衣類、連絡帳などの置き場所や部屋の使い方を知らせる。	
遊び		運動遊び（追いかっこ、築山登り）、造形遊び（シール貼り）、わらべうた遊び（とうきょうとにほんばし、いっぽんばし）、ままごと、ぽっとな落とし	

1 歳児 指導計画

2 期 (6・7・8・9月)

2期（6・7・8・9月）			
年間目標	・安心できる保育士等のもとで、友達と遊ぶことを喜ぶ。 ・身の回りのことに興味をもち、自分でしてみようとする。		
子どもの姿	・園での生活に慣れ、一定の生活リズムができる。 ・簡単な言葉の意味が分かり、行動しようとする。 ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・歩行が安定し、戸外で歩く、走る、登るなど体を動かすことを喜ぶ。		
ねらい	・落ち着いた環境の中で、安心して過ごす。 ・体を動かすことや表現することを楽しむ。 ・夏の遊びを楽しむ。 ・戸外に出て自然に親しみ、体を動かして遊ぶ。	行事	避難訓練 園医健診 七夕 保育参観 歯科健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・一人一人の健康状態を把握し、快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする。 ・保育士等に手伝ってもらいながら、食具を使って自分で食べようとする。 ・歩く、走る、登るなど全身を使って遊ぶ。 ・友達に興味をもち、同じ道具で遊ぼうとしたり関わろうとしたりする。 ・戸外遊びを通して草花、砂、水など身近な自然に親しむ。 ・身振りや言葉で気持ちを伝えようとする。 ・保育士等と一緒に手遊びやわらべうた、リズムを楽しむ。	・家庭と連携をとり、子どもの健康状態を把握し、健康に過ごせるようにする。 ・一人一人の欲求を受け止め、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・一人一人に合わせて、手を添えたり言葉をかけたりして食具の使い方を知らせ、自分で食べる満足感を味わうことができるように援助する。 ・安全な環境を整え、いろいろな場所で歩く、走るなど全身を使って遊ぶ経験ができるようにする。 ・友達と一緒に遊びたい気持ちを受け止め、保育士等が仲立ちとなって関わり方を知らせる。 ・戸外遊びを通して身近な自然に触れ、探索活動を楽しめるようにする。 ・水遊びは水温や水位に留意し、日陰ができる場所で遊ぶなど、安全に配慮する。 ・一人一人の伝えたい気持ちを丁寧に受け止め、代弁しながら言葉でやり取りしていけるように関わる。 ・保育士等と一緒に繰り返し遊ぶことで、音楽に合わせて体を動かす楽しさを感じられるようにする。	
	健康及び安全に関わる配慮事項	・気温の変化に応じて、体調や食欲の変化に留意し、水分補給や休息を十分行う。 ・水遊びをするときは、体調の確認をして適切に対処する。 ・散歩や戸外遊びでは日陰を選ぶようにし、遊ぶ場所に配慮する。	
地域や関係機関との連携	・散歩などを通して地域の人と挨拶や言葉を交わす。 ・子育てサロンの親子と交流する。		
家庭との連携	・1歳半健診の結果を把握する。		
遊び	運動遊び（マット山、滑り台、トンネル、体操）、造形遊び（絵の具、スタンプ遊び、小麦粉粘土）、わらべうた遊び（おふねをこいで、おでんでんぐるま）、感触遊び（片栗粉）、リズム遊び、新聞紙遊び、大型車、プリモブロック		

1 歳児 指導計画

		3期（10・11・12月）	
年間目標	・安心できる保育士等のもとで、友達と遊ぶことを喜ぶ。 ・身の回りのことに興味をもち、自分でしてみようとする。		
子どもの姿	・歩く、走る、登るなど、体を動かすことを喜ぶ。 ・自我が芽生え、自分でやろうとする姿や、思いを通そうとする姿が見られる。 ・友達の存在を意識し、関わろうとするが、かみつきのトラブルも出てくる。 ・言葉が増え、2語文が出始める。		
ねらい	・体を動かすことや表現することを楽しむ。 ・保育士等や友達と関わって遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、簡単な言葉を使うことを楽しむ。 ・秋の自然に触れて遊ぶ。	行事	避難訓練 園医健診 クリスマス会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定）	・一人一人の健康状態を把握し、快適に過ごせるようにする。 ・安心して過ごし、自分の気持ちを表すことができるようにする。 ・食具を使い、いろいろな食べ物を自分で食べようとする。 ・身の回りのことに興味をもち、保育士等と一緒にやってみようという気持ちが高まる。	・家庭と連携をとり、子どもの健康状態を把握し、健康に過ごせるようにする。 ・一人一人の思いを受け止め、気持ちが伝わるうれしさを感じられるよう関わる。 ・必要に応じて手を添えたり、言葉をかけたりしながら自分で食べられたという満足感を味わうことができるようにする。 ・身の回りのことに興味をもてるように声をかけたり、着脱の仕方を知らせて必要に応じて援助したりし、自分でできた満足感を得られるよう配慮する。	
教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・歩く、走る、登るなど全身を使って遊ぶ。 ・保育士等や友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。 ・自然物に触れながら戸外遊びや散歩を楽しむ。 ・保育士等と身振りや簡単な言葉でやり取りをする。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、踊ったりすることを楽しむ。	・安全に配慮しながら築山の登り下りや広い場所を走るなど全身を使って遊ぶことを促す。 ・友達への興味や関心を大切にしながら、保育士も一緒に遊び、友達との関わりを仲立ちしていく。 ・子どもの小さな発見に共感したり、寄り添ったりしながら、落ち葉などの秋の自然に触れ、探索を十分に楽しむことができるようにする。 ・話したい気持ちを受け止め、相槌をうったり丁寧に言葉を添えたりしながら、言葉のやり取りを楽しめるようにする。 ・興味、関心をもてる曲を選び、友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりする楽しさを味わうことができるようにする。	
健康及び安全に関わる 配慮事項		・鼻水が出たときは拭いて清潔を保ち、自分でも言葉や動作で知らせられるよう働きかける。 ・感染症が広がりやすい時期なため、体調の変化に十分注意する。	
地域や関係機関との 連携		・ボランティアの方や小規模保育事業所の園児、子育てサロンの親子と触れ合う機会をもつ。	
家庭との 連携		・季節に応じた衣類について説明し、体に合った防寒用具を用意してもらう。 ・記名が薄い物や持ち物の不備などがあるときには保護者に伝え、点検、補充をお願いする。 ・冬に流行する感染症や予防接種について啓発する。	
遊び		運動遊び（ウェーブバランス、フラフープ）、集団遊び（大根抜き、おおかみさん）、造形遊び（のり、描画）、わらべうた遊び（ひらいたひらいた）、デュプロブロック、人形遊び、パズル	

1 歳児 指導計画

4期（1・2・3月）			
年間目標	・安心できる保育士等のもとで、友達と遊ぶことを喜ぶ。 ・身の回りのことに興味をもち、自分でしてみようとする。		
子どもの姿	・友達と簡単なやり取りをする姿が増えてくる。 ・パズルやお絵かき、ブロック遊びなどに集中して取り組む時間が長くなる。 ・保育士等に手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分でしようとする。		
ねらい	・友達と簡単なやり取りをしたり、一緒に遊んだりする。 ・身の回りのことを意欲的にしようとし、自分でできた喜びを感じる。 ・冬の遊びを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 節分 ひなまつり お祝いパーティー クラス移行 保育参観(発表会)
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定） 教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・一人一人の健康状態を把握し、快適に過ごせるようにする。	・家庭と連携をとり、子どもの健康状態を把握し、健康に過ごせるようにする。	
	・安心して過ごし、自分の気持ちを表すことができるようにする。	・一人一人の思いを受け止め、気持ちが伝わるうれしさを感じられるよう関わる。	
	・保育士等や友達と一緒に楽しく食事をする。	・友達の食べている姿に目が向くようにし、一緒に食べる喜びを味わえるようにする。	
	・保育士等に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にし、必要に応じて援助する。自分でできたときは褒めて、達成感を感じられるようにする。	
	・歩く、走る、跳ぶなど全身を使った運動遊びを楽しむ。	・一人一人の発達や動きを十分に把握する。また、大型遊具で遊ぶ際には、安全に遊べるように保育士等の配置を決め、職員間で連携を取りながら見守りや援助をしていく。	
	・保育士等や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。	・保育士等も一緒になって遊ぶ中で、友達との関わりや遊びを深めていけるよう関わる。	
	・雪遊びを楽しむ。	・雪に触れ、体をのびのびと動かして遊ぶことを楽しめるようにする。	
	・保育士等や友達と身振りや簡単な言葉のやり取りを楽しむ。	・遊びの中で「貸して」「どうぞ」などの簡単なやり取りができるよう仲立ちしていく。 ・絵本の読み聞かせやままごとなどを通して保育士等や友達と言葉での簡単なやり取りを楽しむことができるよう配慮する。	
	・歌を歌ったり、全身を使って表現したりすることを楽しむ。	・保育士等と一緒に遊びながらいろいろな表現の仕方を知らせ、全身を使って表現することの楽しさを味わえるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・鼻水が出たときは拭いて清潔を保ち、子どもが自ら言葉や動作で知らせることができるよう働きかける。 ・感染症が広がりやすい時期のため、体調の変化に十分注意する。		
地地域や関係機関との連携	・ボランティアの方や小規模保育事業所の園児、子育てサロンの親子と触れ合う機会をもつ。		
家庭との連携	・子どもの「一人でしたい」という気持ちの育ちを共有し、家庭でも見守りながら関わってもらえるようにする。 ・安心して進級できるよう子どもの一年間の成長を伝え、クラス移行に伴う変更点などを丁寧に伝える。		
遊び	運動遊び（巧技台）、集団遊び（むっくりくまさん）		

2 歳児 指導計画

1 期 (4・5月)			
年間目標	・保育士等との安定した関係をもとに、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ・身の回りのことを自分でしようとする。		
子どもの姿	・新しい生活に不安を感じ、泣くことがあるが少しずつ慣れていく。 ・進級したことを喜び、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。		
ねらい	・新しい生活に慣れ、安心して過ごす。 ・保育士等や友達と好きな遊びを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 お楽しみ会
内 容		環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 (生命の保持・情緒の安定) 教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・清潔で安全な環境を整え、快適に過ごせるようにする。	・家庭と連携しながら子どもの健康状態を把握し、発達過程に応じた適切な生活リズムがつくられていくようにする。	
	・子どもの欲求を十分に満たし、安心して過ごせるようにする。	・一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるよう関わる。	
	・生活の流れや自分の持ち物の扱い方を知る。	・見通しがもてるよう次の活動を知らせ、保育士等と一緒に言いながら、生活の流れが分かるようにする。 ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切に、必要に応じて手を添え、見守ったり励ましたりしながら方法を知らせていく。	
	・保育士等に誘われてトイレに行き排泄しようとする。	・活動の切り替え時や子どもの様子に合わせてトイレに誘い、排泄できたときは褒めていく。	
	・保育士等や友達と好きな遊びを楽しむ。	・安全に遊べるように玩具や環境を整え、玩具の使い方や遊び方を伝える。 ・子ども同士の関わりがもてるように保育士等が仲立ちとなり、楽しく遊べるよう援助する。	
	・春の自然に興味、関心をもって遊ぶ。	・子どもの小さな発見に共感したり、自然物への興味が広がるような声かけをしたりして、探索を十分楽しむことができるようにする。	
	・気持ちや要求を、簡単な言葉や身振りなどの方法で表現しようとする。	・一人一人の伝えたい気持ちを丁寧に受け止め、安心して表現できるよう関わる。	
健康及び安全に関わる配慮事項		・遊具や用具の使い方を知らせ、安全に楽しく過ごせるようにする。 ・手洗い、うがいの仕方を分かりやすく知らせる。 ・一人一人の健康状態を把握し、換気、水分補給などに配慮する。	
地域や関係機関との連携		・園に遊びに来た親子に興味をもち、触れ合い交流する。	
家庭との連携		・一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら保護者との信頼関係を築く。 ・年間目標や活動内容について具体的に説明する。	
遊び		運動遊び (追いかけっこ、サーキット)、集団遊び (大根抜き、はちはちごめんだ)、造形遊び (シール貼り、クレヨン画、たんぼ)、新聞紙遊び、シャボン玉	

2歳児 指導計画

2期（6・7・8・9月）				
年間目標		・保育士等との安定した関わりをもとに、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ・身の回りのことを自分でしようとする。		
子どもの姿		・新しい環境に慣れて、安心して過ごしている。 ・友達に親しみをもつようになり、関わりが増えていく中でトラブルが多くなる。 ・生活の流れが分かり、保育士等の援助の中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。		
ねらい		・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・戸外に出て自然に触れたり体を動かしたりして遊ぶ。 ・友達と一緒に体を動かすことや表現することを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 歯科健診 お楽しみ会 七夕 身体測定（8月） 運動会
	内 容		環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・休息や水分補給を行い、健康に過ごせるようにする。		・子どもの体調を把握し、こまめな水分補給や十分な休息がとれるようにする。	
	・子どもの欲求を十分に満たし、自分の気持ちを表すことができるようにする。		・一人一人の気持ちを理解し、受容することにより信頼関係を深めていく。	
	・身の回りのことに興味をもち、保育士等の援助を受けながら自分で取り組もうとする。		・一人一人に応じて見守ったり励ましたりしながら、自分でしようとする意欲を大切にしておく。	
	・保育士等に誘われてトイレに行き、排泄する。		・一人一人の排泄の間隔を把握してトイレに誘い、尿意を知らせたときやトイレで排泄できたときは褒めて、パンツへの移行を意識して関わる。	
	・保育士等や友達と一緒に、やり取りしながら遊ぶことを楽しむ。		・保育士等が仲立ちとなり、友達と一緒に楽しく遊べるようにする。	
	・戸外で体を動かして遊ぶ。		・様々な活動の中で、跳ぶ、登る、引っ張るなど全身をつかった遊びが楽しめるようにする。	
	・夏の遊びを楽しむ。		・安全に配慮しながら水や泥、砂などの活動を取り入れていく。また、保育士等と一緒に遊ぶことで、活動の楽しさが感じられるようにする。	
・自分の気持ちを言葉で伝えようとする。		・子どもの気持ちを汲み取り代弁し、言葉や表現の仕方を知らせていく。		
・保育士等や友達と一緒に、手遊びや体操を楽しむ。		・保育士等も一緒に歌ったり踊ったりしながら、友達と一緒に体を動かすことを楽しめるようにする。		
健康及び安全に関わる配慮事項		・水遊びをするときは、発熱、下痢、とびひ、水いぼなど健康状態の確認をし、適切に対処する。 ・気温や体調に合わせ、十分な休息、水分補給を促す。		
地域や関係機関との連携		・地域の人や子育てサロンの親子と、園庭などで一緒に遊ぶ。		
家庭との連携		・着脱しやすい衣類や、季節に応じた衣類について説明をする。 ・爪や髪の毛などの清潔面に意識がもてるよう、知らせる。 ・水遊びの準備について説明する。水遊びの期間はより丁寧に体調の確認、把握を行う。		
遊び		運動遊び（ビーム棒、ウェーブバランス、サーキット）、集団遊び（引越しゲーム、むっくりくまさん）、造形遊び（水性ペン、のり、指スタンプ）		

2 歳児 指導計画

		3 期 (10・11・12月)	
年間目標		・保育士等との安定した関わりをもとに、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ・身の回りのことを自分でしようとする。	
子どもの姿		・生活の流れが分かり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・全身を使った遊びや、ごっこ遊びを楽しむようになる。 ・自分の気持ちや要求を言葉で伝えようとする。	
ねらい		・簡単な身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達と一緒に体を動かすことや表現することを楽しむ。 ・保育士等や友達と関わって遊ぶことを楽しむ。	行事 避難訓練 園医健診 生活発表会 クリスマス会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 (生命の保持・情緒の安定) 教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・寒暖差に慣れ、健康に過ごせるようにする。 ・保育士等との安定した関係をもとに、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・保育士等の援助を受けながら、身の回りのことを自分でする。 ・保育士等に誘われてトイレに行き、排泄する。	・季節の寒暖差がある中で、衣類の調節や、室温・湿度の調整や換気を行い、健康に過ごせるようにする。 ・一人一人の気持ちを理解し、受容することにより信頼関係を深め、自分の気持ちを表現することができるようにする。 ・意欲につながる声かけをし、自分でしたいという気持ちを育てていく。 ・一人一人の排泄の間隔を把握してトイレに誘い、尿意を知らせたときやトイレで排泄できたときは褒めて、パンツへの移行を意識して関わる。	
	・ごっこ遊びや集団遊びなどで、友達と一緒にやり取りをして遊ぶ。 ・秋の自然に親しむ。 ・自分の気持ちや思いを相手に言葉で伝えようとする。また、相手からの簡単な質問に答えようとする。 ・友達と一緒に、全身を使って表現することを楽しむ。	・保育士等と一緒に楽しんだり、ルールを分かりやすく伝えたりして、活動を十分楽しめるようにする。また、保育士等が仲立ちとなりながら友達同士で言葉や物でやり取りできるようにする。 ・子どもの発見に共感したり、自然物を使った遊びを知らせたりしながら、戸外遊びを楽しめるようにする。 ・自分の思いを言葉にし、相手に伝えることができるよう援助していく。また、子どもたちに分かりやすいよう具体的な問いかけをし、簡単な言葉でのやり取りを経験できるようにする。 ・友達と一緒に音楽に合わせて体を動かす活動を取り入れ、表現することの楽しさを感じられるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項		・鼻のかみ方を知らせ、自分でティッシュを使い拭くよう促す。 ・気温差、運動量に応じて衣類の調節ができるようにする。	
地域や関係機関との連携		・地域の人や子育てサロンの親子と、公園や園庭などで一緒に遊ぶ。	
家庭との連携		・感染症が広がりやすい時期のため、体調の変化に留意するとともに、様子を伝え合う。 ・行事に向けての活動を通し、成長した喜びを共有し合う。 ・季節に応じた衣類や雪遊びの準備について説明する。	
遊び		運動遊び (S 棒、大縄、リズム遊び)、集団遊び (糸車、ひらいたひらいた、皿渡し、ドーナツぱっくんちょ、爆弾ゲーム)、言葉遊び (カルタ)、造形遊び (指絵の具、粘土、のり)、楽器遊び	

2歳児 指導計画

4期（1・2・3月）			
年間目標	・保育士等との安定した関わりをもとに、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ・身の回りのことを自分でしようとする。		
子どもの姿	・生活や遊びの中で、保育士等や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・自分の気持ちや要求を言葉で表現する。 ・簡単な身の回りのことが自分でできるようになる。		
ねらい	・身の回りのことを自分でする。 ・自分の思いを保育士等や友達に話し、やり取りを楽しむ。 ・進級する喜びや期待感をもって生活する。	行事	避難訓練 園医健診 節分 身体測定（2月） ひなまつり お祝いパーティー クラス移行
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・適切な生活リズムが身に付き、快適に生活できるようにする。 ・保育士等に見守られながら安心して過ごす中で、自信をもって生活できるようにする。 ・進級に期待をもてるようにする。 ・簡単な身の回りのことを自分でする。 ・尿意を知らせ、トイレで排泄する。 ・簡単なルールを知り、集団遊びやごっこ遊びなどをして友達との仲を深める。 ・冬の遊びを楽しむ。 ・保育士等や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・様々な素材を使って、制作を楽しむ。	・一人一人の体調の変化に留意し、快適に生活できるよう環境を整える。 ・成長を十分に認め、自己肯定感や自信が育まれるよう見守ったり援助したりする。 ・異年齢と関わる機会を設けたり、成長した喜びを共有したりして進級への期待につなげていく。また、進級への不安な気持ちに寄り添い丁寧に関わる。 ・自分でしようとする意欲を大切にし、できたときは褒めて自信につなげていく。 ・排泄後は自分で後始末ができるよう見守り、清潔さを保てるように確認する。 ・保育士等と一緒に遊びながら、遊びのルールを分かりやすく知らせる。また、見立てたり、なりきったりして十分に友達と関わって遊べるようにする。 ・雪や氷などに触れて感触を楽しみ、体をのびのびと動かして遊ぶことができるようにする。 ・自分の思いを言葉にできるように、また、相手の話にも耳を傾けられるように関わる。 ・素材を十分に用意し、作ったり描いたりすることを楽しくめるようにするとともに、用具の使い方について一人一人に分かりやすく知らせる。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・咳エチケットの必要性を知らせ、身に付けられるよう声をかける。 ・体調や天候に留意して雪遊びを行い、安全に遊べるように危険な場所や遊び方を知らせる。		
地域や関係機関との連携	・行事などを通して地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合う機会をもつ。 ・地域の人や子育てサロンの親子と、園庭や園内などで一緒に遊ぶ。		
家庭との連携	・クラス移行に向けた説明を行い、以上児クラスでの生活について知らせる。また、一人一人の成長や園での様子を知らせ、成長を喜び共有する。		
遊び	運動遊び（大縄、リズム遊び）、集団遊び（フルーツバスケット、しっぽとり）、造形遊び（のり、はさみ、折り紙）		

3歳児 指導計画

		1期（4・5月）	
年間目標	・身の回りのことを自分でする。 ・友達と一緒に活動することを楽しむ。		
子どもの姿	・新しい環境に不安を感じる子もいるが、進級したことを喜び、意欲的に過ごしている。 ・保育士に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。		
ねらい	・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・保育士等や友達と好きな遊びを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・子どもの健康状態や発達を把握し適切な援助を行い、快適に生活できるようにする。	・子どもの発達や発育状況、家庭環境等を把握し、一人一人に合わせた適切な援助を行う。	
	・子どもの気持ちや考えを受容し、自分の思いを安心して表すことができるようにする。	・一人一人の気持ちを受け止め、応答的に関わることで信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。	
	・生活の仕方や自分の持ち物の扱い方を知る。	・生活の流れや物の場所等を繰り返し知らせ、理解できるようにする。 ・必要に応じて棚やロッカーに表示を付け、子どもたちがわかりやすいようにする。	
	・保育士等や友達と関わり、一緒に過ごす楽しさや喜びを味わう。	・友達と楽しく生活する中で、遊びや生活のきまりを知ることができるようにする。 ・保育士等が仲立ちとなり、友達と一緒に遊ぶことを楽しめるようにする。	
	・春の自然に興味関心をもつ。	・散歩や戸外遊びを通して春の自然に触れ、興味や関心がもてるように関わる。	
	・保育士等や友達と言葉のやり取りを楽しむ。	・子ども同士の関わりを見守り、足りない言葉を添える等の仲立ちをすることで、楽しく関わられるようにする。	
	・様々な素材に触れ、制作を楽しむ。	・子どもたちが扱いやすい素材を用意し、楽しみながら制作ができるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・危険なものや場所、遊具や用具の使い方を知らせ、安全に楽しく遊べるようにする。 ・室内の換気、整理整頓、清潔の保持に配慮する。		
地域や関係機関との連携	・散歩などを通して地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合う機会をもつ。		
家庭との連携	・一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら、保護者との信頼関係を築く。 ・年間目標や活動内容について具体的に説明する。		
遊び	運動遊び（体操、サーキット、リズム、大縄、ぽっくり、三輪車、ボール）、集団遊び（さらわたし、しっぽとり）、造形遊び（クレヨン、色鉛筆、貼り絵）		

3歳児 指導計画

		2期(6・7・8・9月)	
年間目標		・身の回りのことを自分でする。 ・友達と一緒に活動することを楽しむ。	
子どもの姿		・新しい環境に慣れ、保育士等や友達と好きな遊びを楽しんでいる。 ・話し言葉の基礎ができ、盛んに質問するなど言葉のやり取りを楽しむようになる。 ・友達と一緒に、全身を使って遊ぶことを楽しむ。	
ねらい		・友達や保育士等と関わりながら一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・戸外に出て自然に親しんだり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・夏の遊びを楽しむ。 ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	行事 避難訓練 園医健診 七夕 歯科健診 お楽しみ会 身体測定(8月) 運動会
	内 容		環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項
養護 (生命の保持・ 情緒の安定) 教育 (健康・人間関係・ 環境・言葉・表現)	・環境に応じた遊び方を知らせ、安全に過ごせるようにする。		・危険な場所を知らせたり、安全に遊ぶために必要な行動と一緒に考えたりして、一人一人が安全への意識をもてるようにする。
	・保育士等や友達と触れ合いを通して安心感をもち、意欲的に生活できるようにする。		・保育士等との信頼関係のもとで安定した生活が送れるようにし、保育士等や友達と楽しく過ごす中で自信をもって行動できるようにする。
	・生活の仕方がわかり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。		・生活の見通しがもてるよう関わり、自分でしようとする気持ちを大切にしながら、一人一人に合わせた援助をする。
	・戸外で十分に体を動かして遊ぶ。		・気温や体調に配慮しながら、戸外遊びを楽しむ。
	・順番や決まりを守ろうとする。		・順番やきまりをわかりやすく伝え、繰り返し遊ぶ中で理解できるようにし、友達との活動を楽しめるようにする。
	・夏の遊びを楽しむ。		・保育士等が手本になって遊び方を知らせ、水や砂、泥等に興味をもてるようにする。 ・子どもの興味に合わせて環境を整え、遊びを十分楽しめるようにする。
	・自分の気持ちや要求を言葉で表現する。		・言葉のやり取りを見守りながら必要に応じて気持ちを代弁し、表現できるようにする。
	・音楽に合わせて、体を動かすことや表現することを楽しむ。		・保育士等も一緒に遊ぶ中でやってみたい気持ちが高まるようにし、友達と楽しさを共有できるようにする。
健康及び安全に関わる配慮事項		・気温差に合わせて衣服の調節を行い、休息や水分をとるように声をかける。 ・水遊びするときは、発熱、下痢、とびひ、水いぼなど健康状態の確認をして適切に対処する。	
地域や関係機関との連携		・公園、園庭などで地域の親子やボランティアと一緒に遊ぶ。	
家庭との連携		・園や家庭での様子や生活リズムについて連絡を取り合う。 ・水遊びの準備について説明する。また、より丁寧に体調の確認、把握を行う。 ・制作物、収穫物の展示などで、親子が一緒に興味関心をもてるようにする。	
遊び		運動遊び(鉄棒、ビーム棒、S棒、巧技台)、集団遊び(あぶくたった、ドッジボール、鬼ごっこ)、造形遊び(塗り絵、絵の具、のり、折り紙、デカルコマニー) 言葉遊び(カルタ)	

3 歳児 指導計画

3 期 (10・11・12 月)

3期 (10・11・12月)			
年間目標	・身の回りのことを自分でする。 ・友達と一緒に活動することを楽しむ。		
子どもの姿	・友達と一緒に遊ぶことを喜び、関わりが深まってくる。 ・保育士等や友達と一緒にごっこ遊びを楽しんでいる。 ・体を動かすことを楽しみ、意欲的に遊んでいる。 ・自分の気持ちを言葉で伝えようとしている。		
ねらい	・秋の自然に触れて遊ぶ。 ・保育士等や友達と一緒に表現することを楽しむ。 ・簡単な身の回りのことを自分でする。	行事	避難訓練 園医健診 生活発表会 交通安全教室 クリスマス会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 (生命の保持・情緒の安定) 教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・一人一人の健康状態を把握し、快適に過ごせるようにする。 ・保育士等や友達との安定的な関係を基盤に、自分を肯定する気持ちが育まれるようにする。 ・自分でできることを進んでしようとする。 ・全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ・順番や決まりを守って友達と遊ぶことを楽しむ。 ・身近な自然の変化に興味をもち、自然物に触れたり、遊んだりする。 ・自分の思いや考えを言葉で伝える。 ・保育士等や友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に歌を歌ったり、踊ったりして表現活動を楽しむ。	・一人一人の体調の変化に留意し、室温、湿度の調整や換気を行うことで、健康で快適に過ごせるようにする。 ・周囲に認められる経験を通して、子ども自身が意欲や自信をもって活動できるようにする。 ・生活に見通しをもてるよう関わるとともに、一人一人の頑張りを認めながら必要に応じて援助し、身の回りのことを自分で行えるようにする。 ・様々な遊びを取り入れ、全身を使って遊ぶことの楽しさを味わえるようにする。 ・順番やきまりをわかりやすく伝え、繰り返し遊ぶ中で理解できるようにし、友達とルールを守って遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ・日常の中で自然に触れたり気付いたりすることができるような活動を取り入れ、発見や感動を共有する。 ・友達に思いや考えを伝えようとする姿を見守り、必要に応じて適切な言葉を知らせるようにする。 ・イメージを膨らませることができるよう環境設定や言葉がけをし、保育士等が仲立ちとなって遊びを広げていく。 ・友達と一緒に歌ったり、踊ったりする活動を取り入れ、表現する楽しさを味わえるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・気温差、運動量に合わせた衣服の調節をし、休息や水分をとるように声をかける。 ・感染症予防のためのうがい、手洗いの大切さを知らせる。 ・鼻のかみ方を知らせ、自分でかむよう促す。		
地域や関係機関との連携	・行事や遊びの中で、地域の親子やボランティアと触れ合う。		
家庭との連携	・感染症が広がりやすい時期のため、体調の変化に留意するとともに、様子を伝え合う。 ・季節に応じた衣類や雪遊びの準備について説明する。 ・行事に向けての活動を通し、子どもの様子や成長について伝え合う。		
遊び	集団遊び (だるまさんがころんだ、ナンバーコール、ハンカチ落とし)、造形遊び (ハサミ)		

3歳児 指導計画

4 期 (1・2・3月)

		4期（1・2・3月）	
年間目標	・身の回りのことを自分でする。 ・友達と一緒に活動することを楽しむ。		
子どもの姿	・ルールを守りながら友達と一緒に遊ぶことの楽しさが分かる。 ・生活に必要な身の回りの自立ができ、自分でしようとする。 ・友達関係に広がりが見られ、集団としてのまとまりも出てくる。 ・年上の友達への憧れの気持ちを抱き、遊びを模倣している。		
ねらい	・冬の遊びを楽しむ。 ・進級することに期待をもつ。 ・身の回りのことを自分でする。 ・友達と一緒に活動することを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 ミックスジュースの日 節分 ひなまつり お祝いパーティー クラス移行 身体測定（2月）
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 （生命の保持・情緒の安定 教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・一人一人の健康状態を把握し、快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の子どもが安心して過ごし、自信をもって活動できるようにする。 ・身の回りのことを意欲的に行う。 ・様々な遊びを通して、友達との関わりを深める。 ・雪遊びを楽しむ。 ・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の気持ちに気付いたりする。 ・保育士等や友達と一緒にイメージをもってごっこ遊びを楽しむ。 ・歌う、踊る、作るなど様々な方法で表現することを楽しむ。	・一人一人の体調に留意し、室温、湿度の調整や換気を行うことで、健康で快適に過ごせるようにする。 ・保育士等や友達に受け入れられたり、認められたりする経験を通して、自己肯定感が育まれるようにするとともに、意欲や自信に繋がるようにする。 ・一人一人の様子を確認しながら見守り、頑張る姿を褒めて、意欲的に身の回りのことができるようにする。 ・子どもたちが主体となって遊びが広がるよう興味に合わせた環境づくりをする。 ・雪遊びの身支度等の準備の仕方を丁寧に知らせていく。また、日常の中で自然環境に親しむことができるような言葉がけを行い、発見や感動を共有する。 ・友達の話に耳を傾け、相手の気持ちに気付くことができるように代弁するなどして関わる。 ・ごっこ遊びのイメージが膨らむような環境設定や言葉がけをし、保育士等が仲立ちとなって友達とイメージを共有しながら遊びを広げていくことができるようにする。 ・感じたこと考えたことを自由に描いたり作ったり、体で表現したりして楽しめるような活動を取り入れ、表現する楽しさを味わえるようにする。	
	健康及び安全に関わる配慮事項	・鼻のかみ方を知らせ、自分でかむよう促す。 ・咳エチケットについて必要性を知らせ、身に付けられるように知らせる。 ・体調や天候に留意して雪遊びを行い、安全に遊べるように危険な場所や遊び方を知らせる。	
地域や関係機関との連携	・行事や遊びの中で、地域の親子やボランティアと触れ合う。		
家庭との連携	・発達や成長の様子を伝え合い、進級への期待や喜びを分かち合う。		
遊び	運動遊び（リレー）、集団遊び（ナンバーコール、なんでもバスケット）、造形遊び（ちぎり絵、テープ）		

4 歳児 指導計画

1期（4・5月）			
年間目標	・一人でできることに自信をもち、意欲的に生活する。 ・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。		
子どもの姿	・進級したことを喜び、新しい環境に興味をもって活動する。 ・身の回りのことを自分でできるようになる。 ・保育士等や友達と関わりながら好きな遊びを楽しむ。		
ねらい	・進級を喜び、様々な活動に意欲的に取り組む。 ・友達や保育士等と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・生活の中でのきまりを知り、守ろうとする。	行事	避難訓練 園医健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・適切な生活リズムがつくられるようにする。 ・一人一人の子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・身の回りの玩具や用具の場所が分かり、進んで片付けようとする。 ・保育士等や友達と関わって遊ぶことを楽しむ。 ・春の自然に関心をもち、取り入れて遊ぶ。 ・日常生活の中で数量や図形に関心をもち、つ。 ・自分の気持ちや要求を保育士等や友達に言葉で伝える。 ・いろいろな素材を使って、制作や描画を楽しむ。	・家庭と連携しながら生活リズムを整え、健康に過ごすことができるようにする。 ・自分の気持ちを受け止められたり、認められたりする中で、自己肯定感が育まれるようにする。 ・片付けをしやすい環境を整え、自分で片付ける姿を褒めたり、認めたりする。 ・必要に応じて保育士等が仲立ちとなり、友達との関わりを深めながら、遊びを楽しめるようにする。 ・身近な自然物について知らせ、発見や気付きを共有し、関心を深めていけるようにする。 ・数量や図形などに触れる機会をもち、興味や関心、感覚が育つようにする。 ・言葉で伝えようとする姿を見守り、必要に応じて代弁するなどしながら、安心して伝えることができるようにする。 ・子ども自身の表現しようとする気持ちを受け止めて、豊かな発想や様々な表現を楽しむことができるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項		・散歩に出る前に、道路の歩き方や信号の見方など、交通安全のルールについて確認する。 ・室内の換気、整理整頓、清潔の保持に配慮する。	
地域や関係機関との連携		・地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合う機会をもつ。	
家庭との連携		・一日の様子を丁寧に知らせ、連絡を密にしながら、保護者との信頼関係を築く。 ・年間目標や活動内容について具体的に説明する。 ・子どもの姿に合わせて、5歳児健診について知らせる。	
遊び		運動遊び（長縄跳び、平均台、マット運動）、集団遊び（じゃんけん列車、鬼ごっこ、しっぽ取り）、造形遊び（ハサミ、絵の具、クレヨン、色鉛筆、折り紙、ちぎり絵）、わらべうた遊び	

4歳児 指導計画

		2期（6・7・8・9月）	
年間目標		・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。	
子どもの姿		・保育士等や友達に親しみをもって様々な活動に取り組む。 ・水、土、砂、泥などで積極的に遊ぶ。 ・自分たちで話し合い解決しようとする。 ・様々な運動遊びに挑戦しようとする。	
ねらい		・友達と共通の目的をもって活動する。 ・夏の遊びを楽しむ。 ・様々な運動遊びに意欲的に取り組む。	行事 避難訓練 園医健診 七夕 歯科健診 お楽しみ会 交通安全教室 身体測定（8月） 運動会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・環境に応じた遊び方を知らせ、安全に過ごせるようにする。	・危険な場所や行動を理解し、安全に遊ぶことができるようにする。	
	・保育士等や友達に認められる中で、自分に自信をもち、自己を発揮できるようにする。	・保育士等や友達から認められる経験をする中で自信をもてるようにする。	
	・運動遊びに進んで取り組み、十分に体を動かすことを楽しむ。	・保育士も一緒に運動遊びを楽しみ、できるようになる喜びや達成感を味わえるようにしていく。	
	・保育士等や友達と一緒にルールのある遊びを楽しむ。	・ルールをわかりやすく伝え、友達と一緒にルールを守って遊ぶ楽しさを感じられるようにする。	
	・夏の遊びを楽しむ。	・水、砂、泥などで思い切り遊べるよう、保育士等と一緒に遊びながら遊び方や物の扱い方を知らせ、楽しめるようにする。	
	・保育士等や友達との会話を楽しむ。	・子どもが自分の思いを言葉で伝え、興味をもって相手の話を聞くことで、言葉で伝え合う楽しさを味わえるようにする。	
	・友達と一緒に歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。	・歌や楽器に触れる機会を設け、友達と表現する楽しさを味わえるようにする。	
	・いろいろな素材や用具を使って描いたり作ったりすることを楽しむ。	・子どもが自由に発想して表現できるように、用具や様々な素材を準備する。	
健康及び安全に関わる配慮事項		・気温に合わせて衣服や活動の調節を行い、休息や水分をとるように声をかける。 ・水遊びをするときは、発熱、下痢、とびひ、水いぼなどの健康状態を確認をして適切に対処する。	
地域や関係機関との連携		・ボランティアや散歩などで出会った地域の親子と、挨拶を交わしたり話をしたりする。	
家庭との連携		・季節に応じた衣類について説明をする。 ・水遊びの準備について説明する。日々丁寧に体調の確認、把握を行う。 ・運動遊びの取組の様子を知らせ、子どもの成長を共有する。 ・制作物・収穫物の展示などで、親子と一緒に興味関心をもてるようにする。	
遊び		運動遊び（短縄跳び、鉄棒、跳び箱）、集団遊び（ドッジボール、フルーツバスケット、ハンカチ落とし、風船バレー、進化ゲーム）造形遊び（ボンド、ペンを使った描画、スクラッチ）、言葉遊び（猛獣狩り）	

4 歳児 指導計画

3 期 (10・11・12 月)

年間目標	・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。		
子どもの姿	・自分でできることが増え、自信をもって活動に参加する。 ・友達とのやり取りを楽しみながらルールや約束を守って遊ぶ。		
ねらい	・秋の自然に触れて遊ぶ。 ・友達と一緒に体を動かすことや表現することを楽しむ。 ・友達とイメージを共有し、活動することを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 生活発表会 交通安全教室 クリスマス会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 (生命の保持・情緒の安定)	教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・一人一人が健康について意識し、快適に過ごせるようにする。	
		・一人一人の健康状態を把握し、子ども自身が健康について考えられるように働きかけていく。	
		・一人一人が保育士等や友達に認められる中で、自分に自信をもって活動できるようにする。	
		・一人一人が保育士等や友達から認められる経験ができるようにする。また、褒めたり励ましたりすることで、自己肯定感を高めていけるようにする。	
		・友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。	
		・運動遊びを通し、体を動かすことの楽しさを感じられるようにする。また、様々な動きを経験していくことで自信につながり、意欲的に取り組めるようにする。	
		・協力して一つのことに取り組み、友達とのつながりを深める。	
	教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・友達と試行錯誤しながら活動を展開する楽しさや、共通の目的が実現する喜びが味わえるようにする。	
		・友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるよう、ルールをわかりやすく知らせ、ルールを守って遊べるようにする。	
		・身近な秋の自然に興味をもち、自然物に触れたり遊んだりする。	
		・自然に触れる体験を通して、子どもがや関心を深めていけるようにする。	
		・経験したことを保育士等や友達に伝えるとともに、相手の話に耳を傾ける。	
		・落ち着いた環境をつくり、集中して話を聞く機会や他児に意見を伝える機会を設ける。	
		・歌、踊り、言葉遊びなどの表現遊びを友達と楽しむ。	
	教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・友達と一緒に経験を重ねていく中で、一つのものをつくり上げ、発表する喜びや達成感を味わえるようにしていく。	
		・表現する意欲を十分に発揮できるよう用具を整え、様々な素材に親しみ表現する過程を楽しめるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項		・気温や体調に合わせて衣服の調節ができるよう声をかける。 ・感染症予防のためのうがい、手洗いの大切さを知らせる。	
地域や関係機関との連携		・ボランティアや散歩などの園外保育で出会った地域の親子と、挨拶を交わしたり話をしたりする。	
家庭との連携		・発表会への取組の様子を知らせ、子どもの成長を伝える。—共有する。 ・雪遊びの準備について説明する。	
遊び		運動遊び (足切り)、楽器遊び、造形遊び (筆を使った描画)、言葉遊び (言葉集め)	

4 歳児 指導計画

4 期 (1・2・3月)

4期（1・2・3月）			
年間目標	・生活に見通しをもって過ごす。 ・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。		
子どもの姿	・進級に期待をもち意欲的に生活する。 ・異年齢の友達といろいろな遊びを楽しむことができるようになる。 ・仲間意識が深まり、協力したり、相手を思いやりしようとする。		
ねらい	・様々な活動に意欲的に取り組み、自分の力を発揮する。 ・友達とのつながりを深める。 ・冬の遊びを楽しむ。 ・自分の成長を喜び、進級することに期待をもつ。	行事	避難訓練 園医健診 ミックスジュースの日 節分 ひなまつり お祝いパーティー クラス移行 身体測定（2月）
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・健康や安全の大切さを知らせ、快適に過ごせるようにする。 ・周囲から大切な存在として受け止められ、自信をもって活動できるようにする。 ・見通しをもって生活することができる。 ・集団遊びやごっこ遊びの中で友達とのつながりを深める。 ・雪遊びを楽しむ。 ・文字への興味関心を深める。 ・経験したことを保育士等や友達に伝えるとともに、相手の話を聞く。 ・絵本や紙芝居などの物語に親しみ、想像力を豊かにする。 ・身近な素材を使い、描いたり作ったりして楽しむ。	・子どもが自ら健康に過ごすことを意識できるように働きかけ、生活環境を整えて快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の気持ちを受け止め、褒めたり励ましたりすることで意欲的に活動できるようにする。 ・先の見通しがもてるように次の活動や時間を伝え、活動の節目に気付けるようにしていく。 ・子どもの様子に合わせて、誘ったり見守ったりし、クラス全体で活動する喜びを味わえるようにする。 ・一人一人の体調に配慮し、天候や気温に応じて雪遊びの時間を調節しながら冬の遊びを楽しめるようにする。 ・氷などの自然現象の不思議さや雪遊びの楽しさを感じられるよう、いろいろな遊び方を知らせていく。 ・遊びを通して、文字に触れ親しめるようにする。 ・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりする機会をつくり、友達の話に興味や関心をもてるようにする。 ・新しい言葉や表現などに触れ、楽しさを味わえるようにする。また、想像を膨らませて楽しむことができる題材を選ぶ。 ・遊びに必要なものを考え、友達と相談したり協力したりしながら、目的をもって制作することを楽しめるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・けがのないよう安全点検をするとともに、体調や天候に留意して雪遊びを行う。		
地域や関係機関との連携	・ボランティアや地域の親子に関心を持ち、行事等を通して交流する。		
家庭との連携	・季節に応じた衣類について説明をする。 ・発達や成長の様子を伝え合い、成長を喜ぶとともに、進級への期待や喜びを分かち合う。		
遊び	造形遊び（自由制作）、言葉遊び（連想ゲーム、反対言葉探し）		

5歳児 指導計画

1期（4・5月）			
年間目標	・友達と力を合わせて様々な活動に取り組み、達成感や充実感を味わう。		
子どもの姿	・年長児になった喜びと期待をもち、新しい役割や活動を意欲的に取り組もうとする。 ・年下の子の世話をしようとする。 ・遊びを通して自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを分かろうとする。		
ねらい	・新しい環境に慣れ、友達と遊びを楽しみ、落ち着いて生活する。 ・年長児としての期待と意欲をもって、様々な活動に取り組む。	行事	避難訓練 園医健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・一人一人の子どもの健康状態や発達状態を把握して快適に生活できるようにする。	・健康状態や発育、発達の状態を把握し、生活環境を整えて快適に過ごせるようにする。	
	・生活に見通しをもち、安心して過ごせるようにする。	・一日の活動を分かりやすく伝え、見通しをもてるようにする。また、気持ちを受容することで保育士等との信頼関係を築き、安心して生活できるようにする。	
	・安全な遊び方や生活の仕方を理解し、行動しようとする。	・安全な遊び方や遊具の使い方、交通ルールなどを知らせ、自ら危険を回避することを意識できるようにする。	
	・友達と一緒に戸外遊びを楽しむ。	・子ども自身で遊びを広げられるよう環境を整備し、必要に応じた援助をしていく。また、互いに協力したり、工夫したりできるようにする。	
	・春の自然に触れ興味、関心をもつ。	・自然物への興味関心がもてるよう働きかけ、子どもの興味に合わせて絵本や図鑑などの準備をする。また、触れたり考えたりする機会をもち、親しみをもてるようにする。	
	・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、互いの気持ちを知ろうとする。	・自分の思いを表現したり、相手の話を聞いたりする機会をつくり、相手の思いに気付くことができるようにする。	
	・様々な用具や身近な素材を使い、自由に表現すること楽しむ。	・導入を工夫し、考えを引き出すことで、自分のイメージを自由に表現できるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項	・手洗いやうがいの大切さや正しい方法を知らせ、自分の健康に関心をもてるようにする。 ・室内の換気、整理整頓、清潔を保持できるように配慮する。		
地域や関係機関との連携	・散歩などを通して、地域の人と挨拶や言葉を交わし触れ合う機会をもつ。 ・ボランティア、子育てサロンの親子と挨拶や交流をする。		
家庭との連携	・一日の様子を丁寧に知らせて連絡を密にしながら、保護者との信頼関係を築く。 ・年間目標や活動内容について具体的に説明する。		
遊び	運動遊び(鉄棒、跳び箱、縄跳び)、集団遊び(鬼ごっこ、ドッチボール)、造形遊び(ハサミ、絵の具)		

5歳児 指導計画

2 期 (6・7・8・9月)

		2期（6・7・8・9月）	
年間目標		・友達と力を合わせて様々な活動に取り組み、達成感や充実感を味わう。	
子どもの姿		・年長児としての自信が見られ、様々なことに進んで取り組む。 ・様々な遊びや自然物などに興味関心をもつ。 ・ルールのある遊びを友達と楽しみ、友達と一緒に新たなルールを考えようとする。 ・運動会に向け、様々な運動遊びを意欲的に取り組む。	
ねらい		・様々な運動遊びに目標をもって取り組む。 ・自然に親しむことや友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・友達と考えを伝え合い、イメージを共有して様々な遊びを楽しむ。	行事 避難訓練 園医健診 七夕 歯科健診 お楽しみ会 交通安全教室 身体測定（8月） 運動会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・保健衛生に留意して、安全な遊び方や生活の仕方を身に付け、快適に生活できるようにする。	・水分補給や休息をとることの大切さや衣服の調節について伝え、快適に過ごせるように働きかける。 ・安全な遊び方や遊具の使い方、交通ルールなどを確認し、自ら危険を回避して行動できるようにする。	
	・保育士等や友達に認められる中で自信をもてるようにする。	・一人一人の気持ちを受け止めて、褒めたり励ましたりしながら自信をもって意欲的に活動に参加できるようにする。	
	・ルールを守り、体を動かして遊ぶことを楽しむ。	・興味をもって楽しめるように配慮し、好きな遊びや運動遊びを通してのびのびと体を動かし、意欲や達成感につながるように働きかける。	
	・友達と共通のイメージをもって遊びを楽しむ。	・友達と役割分担したり、簡単な決まりをつくったりしながら遊びを楽しむことができるよう、必要に応じた助言や仲立ちをしていく。	
	・身近な自然に親しみ、大切にしようとする。	・植物や生き物の生長や変化に気付き、命への興味、関心をもてるように働きかける。	
	・水、泥、砂などの素材に触れながら、遊びを工夫して楽しむ。	・水や泥、砂などの感触を味わい、友達と一緒に工夫して遊ぶことを楽しめるようにする。	
	・相手の気持ちを知り、思いを伝え合う。	・自分の思いを表現したり、友達の話の聞いたりする機会をもち、自分とは違った考えや意見に耳を傾けることができるようにする。	
	・音楽やリズムの楽しさを味わう。	・様々な音色や楽器に触れる機会をもち、友達と一緒に表現することを楽しめるようにする。	
健康及び安全に関わる配慮事項		・気温に合わせて衣服の調整ができるようにし、水分補給や休息を促す。 ・水遊びをするときは、発熱、下痢、とびひ、水いぼなどの確認をし、適切に対処する。	
地域や関係機関との連携		・散歩や園外活動を通して、地域の人と挨拶や言葉を交わし触れ合いをもつ。	
家庭との連携		・一人一人の取組の様子を伝え、成長を喜び合って信頼関係を深める。 ・水遊びの準備について説明し、より丁寧に体調の確認、把握を行う。 ・制作物、収穫物の展示などで、親子が一緒に興味関心をもてるようにする。	
遊び		造形遊び、絵の具、楽器遊び 運動遊び、水遊び	

5 歳児 指導計画

3 期 (10・11・12 月)

		3期(10・11・12月)	
年間目標	・友達と力を合わせて様々な活動に取り組み、達成感や充実感を味わう。		
子どもの姿	・意欲的に活動に参加し、友達と共通の目的をもって取り組む中で仲間意識が深まる。 ・遊びの中心となり、年下の子と関わる。 ・友達に対し、思いやりをもって励まし合う姿が見られる。 ・文字への興味関心が高まり、自分で絵本を読んだり、文字を書いたりする。		
ねらい	・友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた達成感を味わう。 ・友達との関わりを深め、思いやりをもつ。 ・友達と協力したり、工夫したりして表現遊びを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 生活発表会 交通安全教室 クリスマス会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 (生命の保持・情緒の安定) 教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・健康的な生活習慣を身に付けられるようにする。 ・周囲に認められる中で自分に自信をもち、友達と協力して目標に向かって最後までやり遂げる達成感を味わう。 ・季節の変化に気づき、自然に触れながら友達と様々な遊びを楽しむ。 ・思いを伝え合い、友達との関わりを深める。 ・食への感謝や命の尊さを知る。 ・文字、数字などに興味をもち、言葉遊びや文字を読み書きする楽しさを知る。 ・友達と共通のイメージをもち、表現遊びや制作を楽しむ。 ・様々な音色やリズムに親しみ、友達と一緒に表現することを楽しむ。	・気温の変化に応じて温度調節や換気、加湿を行い、安全で快適に過ごせるようにする。 ・健康に過ごすための方法を知らせ、生活習慣の大切さに気付けるようにする。また、体と食べ物の関係について興味、関心をもてるようにする。 ・一人一人の気持ちを受け止め、褒めたり励ましたりしながら、自信をもって活動できるようにする。 ・友達と共通の目的に向かって考えたり、工夫したりする経験を通して達成感を味わえるようにする。 ・散歩や雪遊びなど、季節の移り変わりを感じながらのびのびと体を動かして遊びを楽しめるようにする。 ・遊びや活動を通して、友達と互いに思いを伝え合い、つながりを深めることができるよう必要に応じた仲立ちや見守りをする。 ・作物の実りや、生き物の生態について関心を深められるようにする。 ・遊びや生活の中で、文字や数字などに触れる機会をつくり、子どもたちの興味関心が高まるように働きかける。 ・話し合いの機会をもったり、様々な素材を用意したりするなどし、想像力を膨らませて活動に取り組めるようにする。 ・様々な音楽や楽器を使い、友達と一緒に音楽をつくり上げる楽しさを味わえるようにする。	
健康及び安全 における配慮 事項	・気温や体調に合わせて衣服の調節ができるよう声をかける。 ・規則正しい生活や、感染症予防のためのうがい、手洗いの大切さを知らせる。		
地域や関係 機関との連携	・二十四軒小学校と交流の機会をもつ。 ・園外活動で、公共の施設や乗り物などでのマナーやルールを知る。		
家庭との 連携	・行事等の参加の様子や保育の中での取り組む姿を伝え、成長の喜びを共有し合う。 ・年長児の活動に必要な持ち物や連絡事項は、お便りなどで分かりやすく知らせる。 ・就学までの準備について、児童会館、児童クラブの情報などを知らせていく。 ・札幌市保育所児童保育要録の記載内容についての確認を行い、了承を得る。 ・雪遊びの準備について説明する。		
遊び	集団遊び（ポートボール、キックベースボール）、造形遊び（自然物を使った制作）、言葉遊び、ゲーム遊び		

5歳児 指導計画

4期（1・2・3月）			
年間目標	・友達と力を合わせて様々な活動に取り組み、達成感や充実感を味わう。		
子どもの姿	・今までの経験をもとに友達と相談、工夫をしながら遊びや活動を楽しむ。 ・就学への期待が高まり、自信をもって活動に取り組む子や、不安を感じる子もいる。 ・文字、数字、数量への興味関心が深まり、本を読むこと、文字や数字を書くことが楽しめるようになる。		
ねらい	・互いのよさを認め合い、友達と遊びや活動を楽しみながらつながりを深める。 ・就学への期待をもち、見通しをもって様々な活動に取り組む。	行事	避難訓練 園医健診 ミックスジュースの日 節分 ひなまつり 身体測定（2月） お祝いパーティー クラス移行 卒園お祝い会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・安全で健康的な生活を送ることができるようにする。 ・周囲に認められる中で自信をもって活動する。 ・友達と戸外遊びを楽しむ。 ・友達との遊びや活動の中で、相手の気持ちに気付き、思いやりの気持ちをもつ。 ・伝統文化に興味、関心をもつ。 ・日常生活の中で文字や数字などへの関心を深める。 ・友達の話に耳を傾け、共感したり意見を伝えたりする。 ・イメージを広げて考えたり、工夫したりしながら自由に表現することを楽しむ。 ・お世話になった人たちへの感謝の気持ちをもつ。	・季節に合わせた生活習慣について確認する機会をもち、うがいや手洗いなどをしっかりと行えているか確認する。 ・一人一人の気持ちを受け止め、褒めたり励ましたりしながら、自信をもって充実した生活を送れるようにする。 ・冬の自然に親しみながら、意見を出し合って雪遊びの楽しさを感じられるようにする。 ・友達の思いを認め、譲り合ったり、解決する方法を考えたりできるように働きかける。 ・伝承遊びを通して、伝統文化に触れ、その由来や楽しさを伝えていく。 ・遊びや生活の中で文字や数字を読み書きする機会を増やし、読み書きする楽しさや喜びを感じられるようにする。 ・子どもが経験したことや感じたことを言葉で表現する機会を設け、自分の思いを素直に表現できるようにする。また、友達との会話を楽しめるようにする。 ・子どもの意欲を大切にし、表現方法が広がるように環境を整え、自分の考えを表現できるようにする。 ・これまでの生活を振り返る機会をもち、卒園準備などを通して関わった人への感謝の気持ちを表現する。	
健康及び安全における配慮事項	・咳エチケットについて必要性を知らせ、身に付けられるよう声をかける。 ・戸外遊びでは安全点検をするとともに、体調や天候に留意して行う。		
地域や関係機関との連携	・二十四軒小学校、二十四軒児童会館との交流をする。 ・公共の施設や乗り物などではマナーやルールを守って行動する。		
家庭との連携	・行事等の参加の様子や様々な活動に取り組む姿を伝え、成長した喜びを共有し合う。 ・就学に向けて午睡時間を減らしていくことを知らせ、基本的な生活習慣を整えていけるようにする。 ・就学に関わる不安や疑問を解消できるよう、話を聞く機会を多くもつ。 ・卒園アルバムの制作について知らせる。		
遊び	言葉遊び、伝承遊び（コマ、けん玉）雪遊び、制作（卒園制作、自由制作		

異年齢児 指導計画

1期（4・5月）			
年間目標		・異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや親しみの気持ちをもつ。	
子どもの姿		・新しい環境に期待をもつと同時に、不安になったり緊張したりする。 ・進級したことを喜び、意欲的に生活する。 ・同じ年齢の子と一緒に遊ぶことが多い。	
ねらい		・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・友達や保育士等と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・春の自然に触れて遊ぶ。	行事 避難訓練 園医健診 お楽しみ会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・物の置き場所や生活の流れを知り、身の回りのことを自分でできるようにする。 ・新しい環境の中で保育士等や友達と信頼関係を築き、安心して過ごすことができるようにする。 ・楽しく食事をする。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。	・個々の様子に合わせて、褒めたり励ましたりしながら身の回りのことに意欲的に取り組めるようにする。 ・一人一人の気持ちを受け止めながら、安心して過ごせるように丁寧に関わる。 ・一人一人の食事の様子を把握し、楽しく食べることができるようにする。 ・気温や体調に配慮しながら、戸外遊びに誘う。	
	・保育士等や友達に親しみをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・身近な自然に触れて遊ぶ。 ・自分の気持ちを言葉で伝える。 ・絵本や紙芝居を見たり聞いたりして楽しむ。 ・保育士等や友達と一緒に歌や、手遊びを楽しむ。	・遊びに入れない子は、気持ちを受け止め、保育士等と一緒に遊ぶ中で友達との関わりをもてるようにしていく。 ・身近な自然に気付けるように声をかけたり、自然物に触れ合うことができるようにしたりする。 ・子どもの話したい気持ちを温かく受け止め、安心して話せる環境をつくる。 ・季節に合ったものや子どもが親しめる内容の絵本、紙芝居を用意する。 ・親しみのある歌や手遊びを取り入れていく。	
健康及び安全に関する配慮事項		・遊具の正しい使い方や遊び方、危険な場所などについて知らせる。 ・室内の換気、整理整頓、清潔の保持に配慮する。 ・子どもの健康状態を把握し個々の健康の保持に努める。	
地域や関係機関との連携		・ボランティアや散歩などを通して出会う地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合う機会をもつ。	
家庭との連携		・安心して過ごせるように家庭や園での様子を伝え合い、保護者との信頼関係を築いていく。 ・異年齢活動のねらいや内容について分かりやすく伝えていくとともに、保護者の疑問点や質問に丁寧に答えていく。	

異年齢児 指導計画

2 期 (6・7・8・9月)

2期（6・7・8・9月）			
年間目標	・異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや親しみの気持ちをもつ。		
子どもの姿	・異年齢グループが始まり、楽しみにする子がいる一方で、新しい環境に不安を抱く子もいる。 ・異年齢グループに慣れてくると、年上の子が年下の子の世話をしたり、年下の子が年上の子の真似をして遊んだりする。		
ねらい	・友達や保育士等と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・戸外に出て自然に親しみ、体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・体を動かすことや表現することを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 七夕 歯科健診 お楽しみ会 交通安全教室 身体測定(8月) 運動会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・生活の流れを伝え、身の回りのことを自分でできるようにする。 ・保育士等や友達と信頼関係を築き安心して過ごせるようにする。 ・友達と一緒に楽しく食事をする。 ・異年齢の友達と一緒に戸外で体を十分に動かしたり、散歩したりすることを楽しむ。 ・異年齢の友達に親しみをもって遊ぶ。 ・夏の遊びを楽しむ。 ・友達や保育士等との言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を通して、いろいろな話を楽しむ。 ・保育士等や友達と一緒に、歌や踊りを楽しむ。	・身の回りのことを自分でする気持ちを育みながら、必要に応じて援助していく。 ・不安をもっている子には、気持ちを受け止めながら、安心して過ごせるように丁寧に関わる。 ・各年齢の担当と連携しながら一人一人の食事の様子を把握し、楽しく食べることができるようにする。 ・園庭や公園でのルールを事前に確認し、危険につながることはその都度伝えていく。 ・友達と手をつなぐなど、異年齢の友達に親しみをもって関わることをできるようにする。 ・安全に楽しく遊ぶことができるように、水遊びの約束事を知らせる。 ・一人一人の発達に合わせた言葉がけを心がけながら、互いの気持ちに気付けるように働きかける。 ・子どもの興味や関心に応じて絵本や紙芝居を用意する。 ・親しみのある歌を取り入れながら、友達と一緒に歌ったり踊ったりする楽しさを感じられるようにする。	
健康及び安全に関する配慮事項	・気温、体調に合わせ、水分補給や休息を促す。 ・汗をかいたら拭く、着替えるなど、清潔に過ごせるようにする。 ・水遊びをするときは、発熱、下痢、とびひ、水いぼなどの確認をする。		
地域や関係機関との連携	・ボランティアや散歩などを通して出会う地域の人と挨拶や言葉を交わし、触れ合う機会をもつ。		
家庭との連携	・季節に応じた衣類の説明をする。 ・水遊びの準備について説明する。水遊びの期間は更に丁寧に体調の確認、把握を行う。		

異年齢児 指導計画

3期 (10・11・12月)			
年間目標	・異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや親しみの気持ちをもつ。		
子どもの姿	・友達関係や遊びに広がりが出てくる。 ・いろいろな遊びに積極的に取り組むようになる。 ・簡単なルールのある遊びを異年齢の友達と楽しむようになる。		
ねらい	・友達と一緒に体を動かすことや表現することを楽しむ。 ・友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。	行事	避難訓練 園医健診 生活発表会 交通安全教室 クリスマス会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護 (生命の保持・情緒の安定) 教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)	・生活の仕方が分かり、自分でしようとする気持ちを育めるようにする。 ・一人一人の子どもが自分の気持ちを安心して表せるようにする。 ・食べ物への興味や関心をもち、食べることを楽しむ。 ・友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 ・異年齢の友達や保育士等と簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・秋の自然に触れて遊ぶ。 ・経験したことや感じたことを保育士等や友達に話す ・絵本や紙芝居に興味をもち、想像する楽しさを味わう。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、楽器を演奏したりして表現することを楽しむ。	・自分でしようとする気持ちを認め、必要な場合は援助していく。 ・気持ちを受け止めたり、認めたりする中で、自己肯定感が育まれるように関わる。 ・給食の献立や食材を紹介し、食べ物への興味、関心につなげられるようにする。 ・運動遊びに興味をもち、楽しんで参加できるようにする。 ・ルールを分かりやすく丁寧に伝え、異年齢の友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ・近隣の公園への散歩を通して、季節の変化に気付いたり自然物に触れたりして遊べるようにする。 ・話したい気持ちを温かく受け止め、安心して話せる機会をつくる。 ・子どもの興味や関心に応じて、絵本や紙芝居を用意する。 ・友達と一緒に歌ったり、リズムを合わせたりすることの楽しさを味わえるようにする。	
健康及び安全に関する配慮事項	・感染症予防のためのうがい、手洗いの大切さを知らせる。 ・気温や体調に合わせて衣服の調節ができるよう声をかける。		
地域や関係機関との連携	・行事などを通し、地域の人やボランティアに親しみをもち、交流する。		
家庭との連携	・感染症が広がりやすい時期のため、体調の変化に留意するとともに様子を伝え合う。 ・行事が多くなるので、おたよりや掲示板などで持ち物や内容などを分かりやすく知らせる。		

異年齢児 指導計画

4期（1・2・3月）			
年間目標	・異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや親しみの気持ちをもつ。		
子どもの姿	・いろいろな年齢の友達と共通の遊びを楽しめるようになる。 ・友達関係に広がりが見られ、グループとしてまとまる。 ・進級、就学への期待をもち、自信をもって様々な活動に取り組む。		
ねらい	・友達と協力したり、工夫したりしながら遊びを楽しむ。 ・進級、就学することに期待をもち、意欲的に活動する。	行事	避難訓練 園医健診 ミックスジュースの日 節分 ひなまつり お祝いパーティー クラス移行 身体測定（2月） 卒園お祝い会
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項	
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・基本的な生活習慣や、身の回りのことを自分でできるようにする。 ・思いを受け止めたり認めたりしながら、自信をもって生活できるようにする。 ・食べ物への興味や関心をもち、友達と楽しく食事をする。 ・友達とイメージを共有して遊ぶ。 ・異年齢の友達と、工夫したり協力したりしながら遊ぶことを楽しむ。 ・冬の自然に触れて遊ぶ。 ・保育士等や友達の話に興味や関心をもち、聞いたり話したりする。 ・様々な素材や用具を使って工夫し、描いたり作ったりすることを楽しむ。	・自分でしようとする気持ちを認め、必要な場合は援助していく。 ・一人一人の不安や頑張りを受け止め、自信をもって進級、就学できるよう配慮する。 ・給食の献立や食材を知らせ、友達と会話を楽しみながら食事をする事ができるよう配慮する。 ・友達と共通のイメージをもち、工夫したり協力したりする楽しさを味わえるように配慮する。 ・友達と協力して遊びを広げていけるように環境づくりをする。 ・冬の自然に触れる体験を通して、自然への関心を深められるようにする。 ・自分の思いを表現したり友達の話の聞いたりする機会を取り入れ、思いを伝え合う経験ができるようにする。 ・様々な素材や用具を用意し、イメージを広げて描いたり作ったりできるようにする。	
健康及び安全に関する配慮事項	・感染症予防のためのうがい、手洗いを自分から行えるようにする。 ・体調や天候に留意して雪遊びを行い、安全に遊べるように危険な場所や遊び方を知らせる。		
地域や関係機関との連携	・いろいろな園行事に地域の方々を招待して、触れ合う機会をつくる。 ・地域の人やボランティアに親しみをもち、交流する。		
家庭との連携	・発達や成長の様子を伝え合い、成長を喜ぶとともに、進級への期待や喜びを分かち合う。		

時間外保育 指導計画

年間目標	・保育士等や友達と落ち着いた雰囲気の中で安心して過ごす。	
子どもの姿	・保育士等や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・あまり利用しない子は、不安を感じたり緊張したりする様子が見られる。	
ねらい	・保育士等や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・安心して過ごす。	
	内 容	環 境 構 成 及 び 配 慮 事 項
養護（生命の保持・情緒の安定） 教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・保育士等との関わりの中で安心して過ごせるようにする。 ・一人一人の子どもの状態を把握し、安全で快適に過ごせるようにする。 ・安心して落ち着いた雰囲気の中で補食できるようにする。 ・好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ・保育士等や友達に親しみをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。	・一人一人の気持ちを受け止め、快適な環境の中で安心して過ごし、好きな遊びを楽しめるようにする。 ・長時間保育の子もいるため、子どもの疲労感や集中力に配慮し、安全に遊べるよう環境設定をする。 ・補食は、アレルギー児や離乳食の有無を確認し、配膳や誤飲誤食に十分注意する。 ・必要に応じて手を添えたり言葉をかけたりして、落ち着いた雰囲気の中で食べることができるようにする。 ・保育を始める前に、遊ぶ場所や遊具の安全点検を十分に行う。 ・一人一人の発達や興味、関心に合わせた遊具を用意し、一緒に遊びながら好きな遊びを見つけられるようにする。 ・子どもの状況に応じて、少人数で安心して遊べるよう環境を設定する。
健康及び安全に関する配慮事項	・職員間の連携を図り、一人一人の生活や遊びの連続性に配慮する。 ・子どもの健康状態を把握し、一人一人の健康の保持に努める。 ・一人一人の体調変化や睡眠状況を把握し、職員間で連携を図り心地よく過ごせるようにする。 ・こまめに水分補給ができるよう配慮する。 ・手洗いやうがいの大切さを知らせ、正しい方法を知らせる。 ・遊具の正しい使い方や遊び方、危険な場所などについて知らせる。 ・素材や用具を適切に用意し、使い方を分かりやすく知らせる。 ・室内の換気、整理整頓、清潔の保持に配慮する。	
家庭との連携	・安心して過ごせるように家庭や園での様子を伝え合い、保護者との信頼関係を築いていく。 ・保護者の質問や要望に丁寧に答える。	